

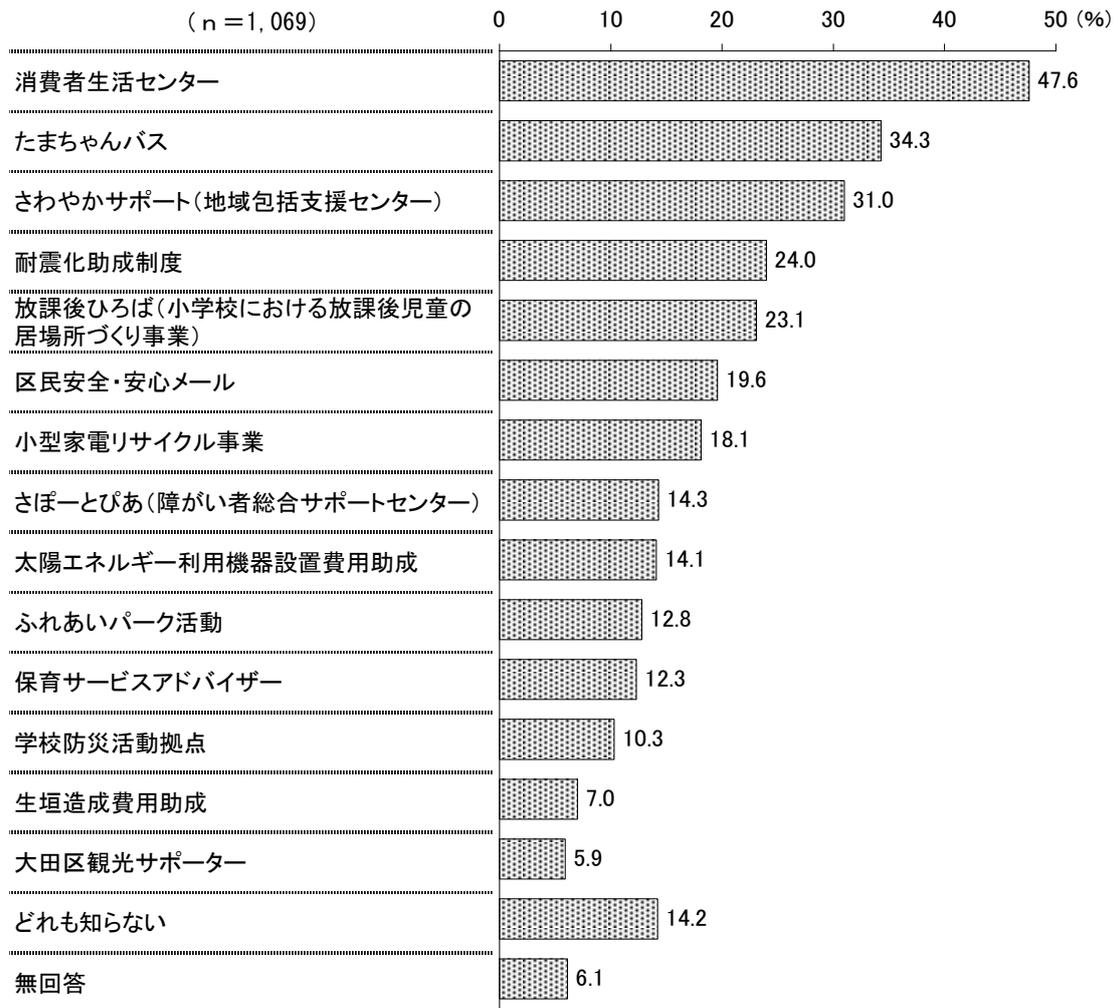
16. 区政への関心と要望

(1) 区の制度・施策・施設の認知度

◇「消費者生活センター」が5割近く

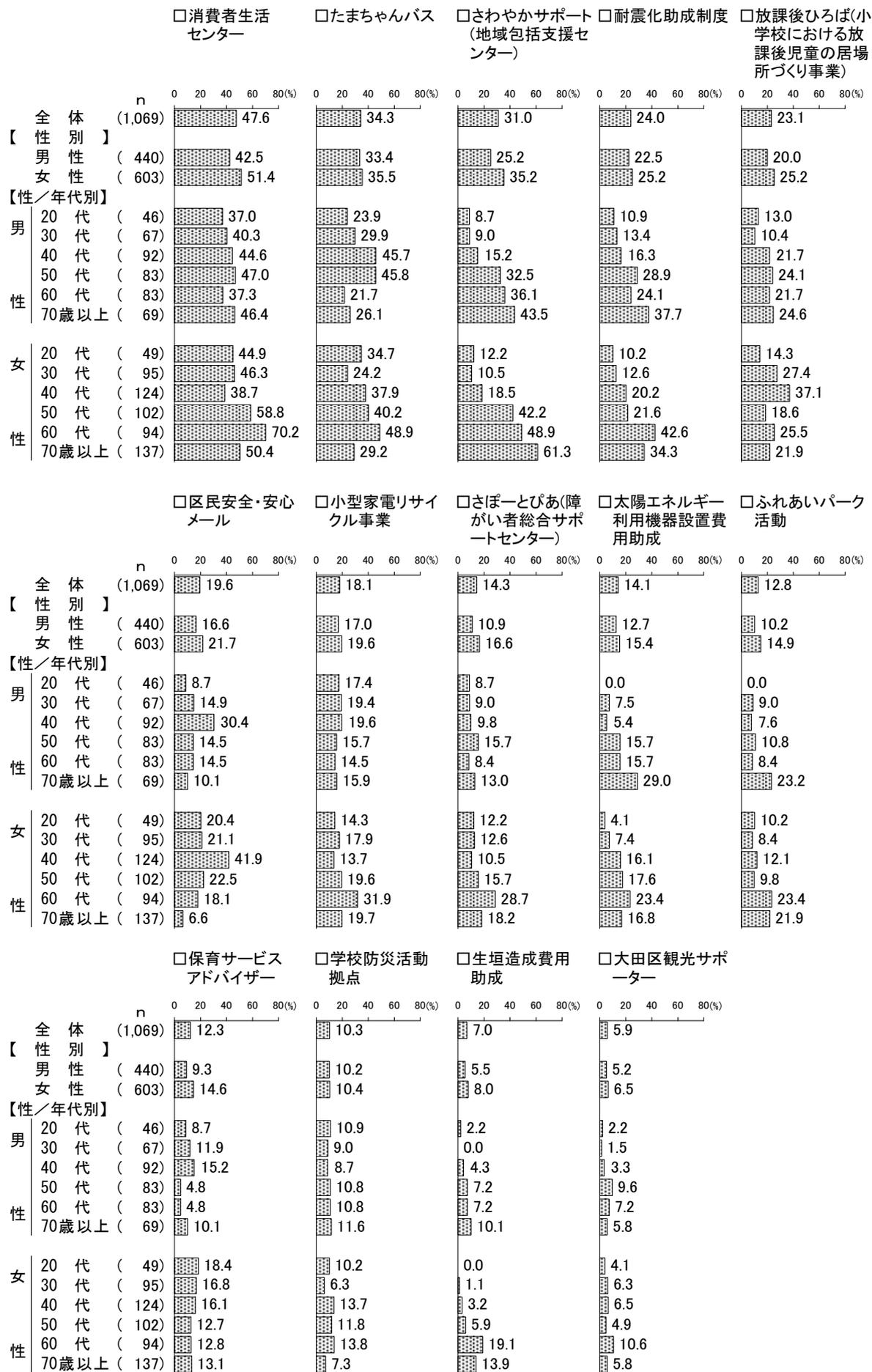
問 29 以下の大田区の制度、施策、施設のうち、あなたをご存知なものをすべて挙げてください。(〇はいくつでも)

図 16-1-1



区の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「消費者生活センター」(47.6%)が5割近くで最も高く、次いで「たまちゃんバス」(34.3%)、「さわやかサポート(地域包括支援センター)」(31.0%)、「耐震化助成制度」(24.0%)、「放課後ひろば(小学校における放課後児童の居場所づくり事業)」(23.1%)などの順になっている。(図 16-1-1)

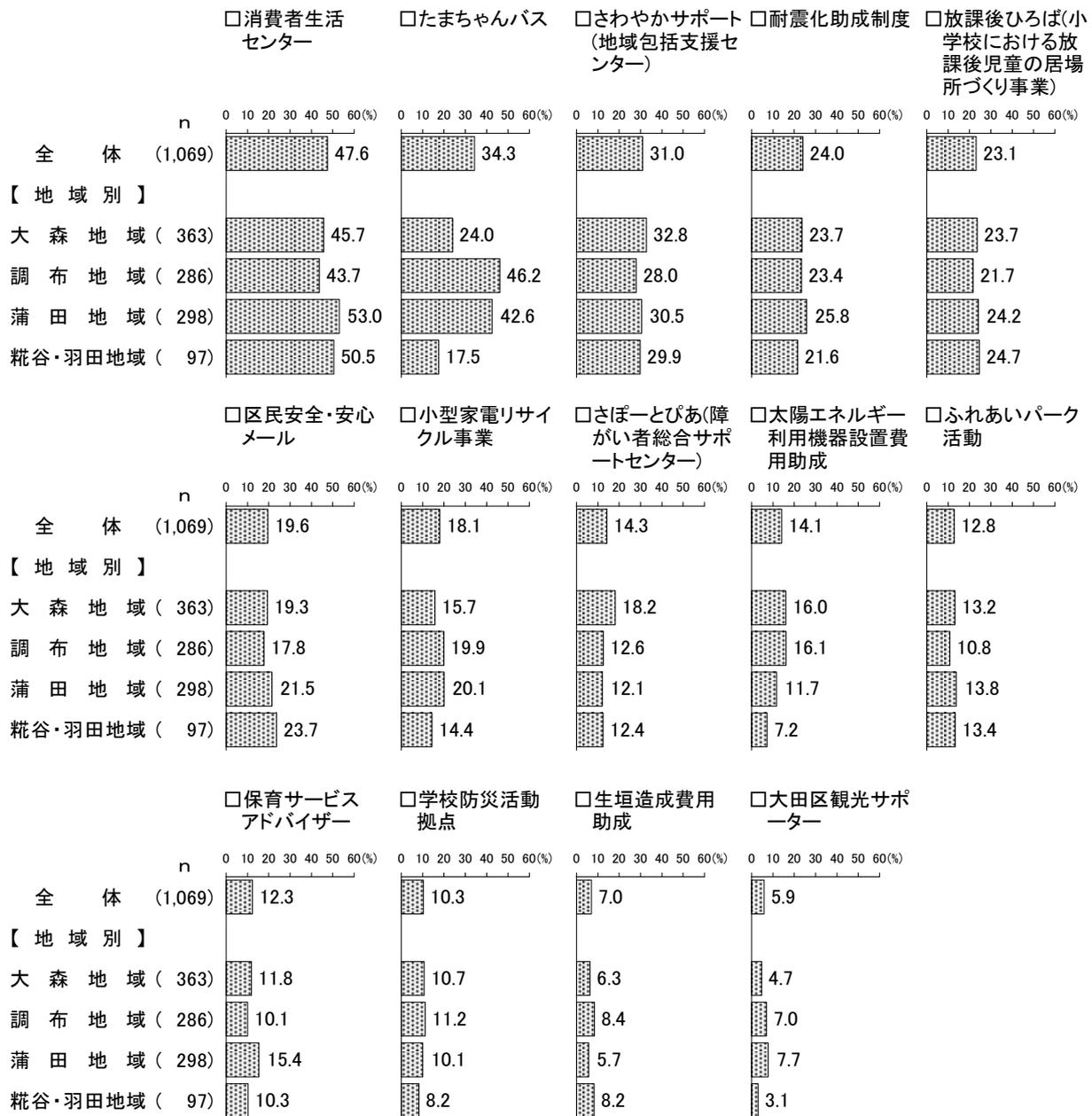
図 16-1-2 区の制度・施策・施設の認知度－性／年代別



性別でみると、全ての項目で女性が男性を上回っており、「さわやかサポート（地域包括支援センター）」は女性（35.2%）が男性（25.2%）より10.0ポイント高く、「消費者生活センター」は女性（51.4%）が男性（42.5%）より8.9ポイント高くなっている。

性/年代別でみると、「消費者生活センター」は女性60代（70.2%）で7割と高く、「たまちゃんバス」は女性60代（48.9%）で5割近くとなっている。また、「さわやかサポート（地域包括支援センター）」は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（61.3%）で6割を超えている。（図16-1-2）

図 16-1-3 区の制度・施策・施設の認知度—地域別



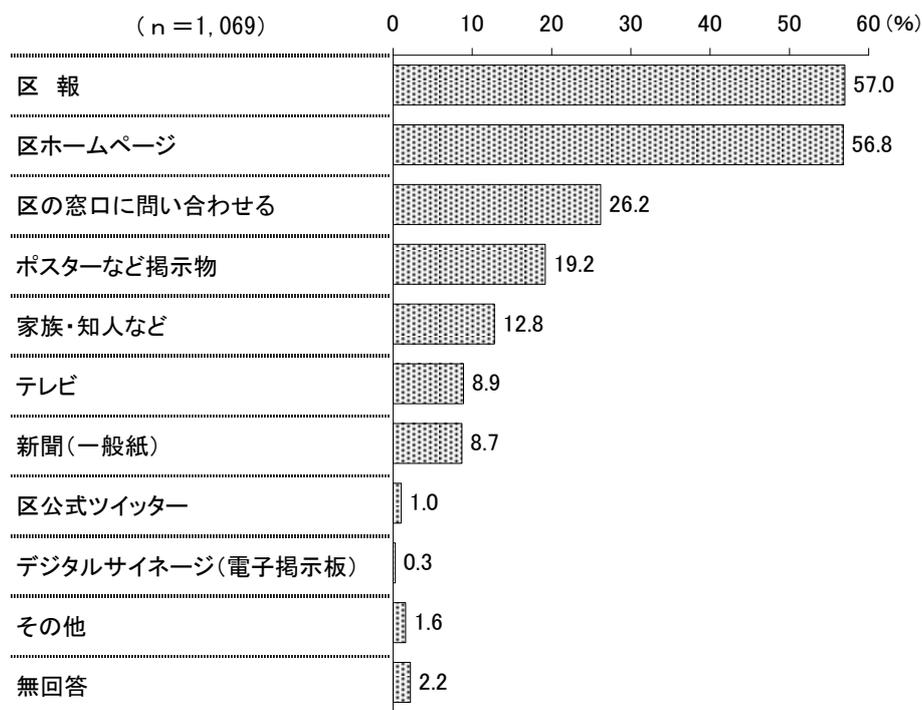
地域別でみると、「消費者生活センター」は蒲田地域（53.0%）で5割を超え、「たまちゃんバス」は調布地域（46.2%）で4割半ばとなっている。（図16-1-3）

(2) 区の情報を知るために利用する媒体

◇「区報」と「区ホームページ」が6割近く

問 30 大田区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用しますか。
(○はいくつでも)

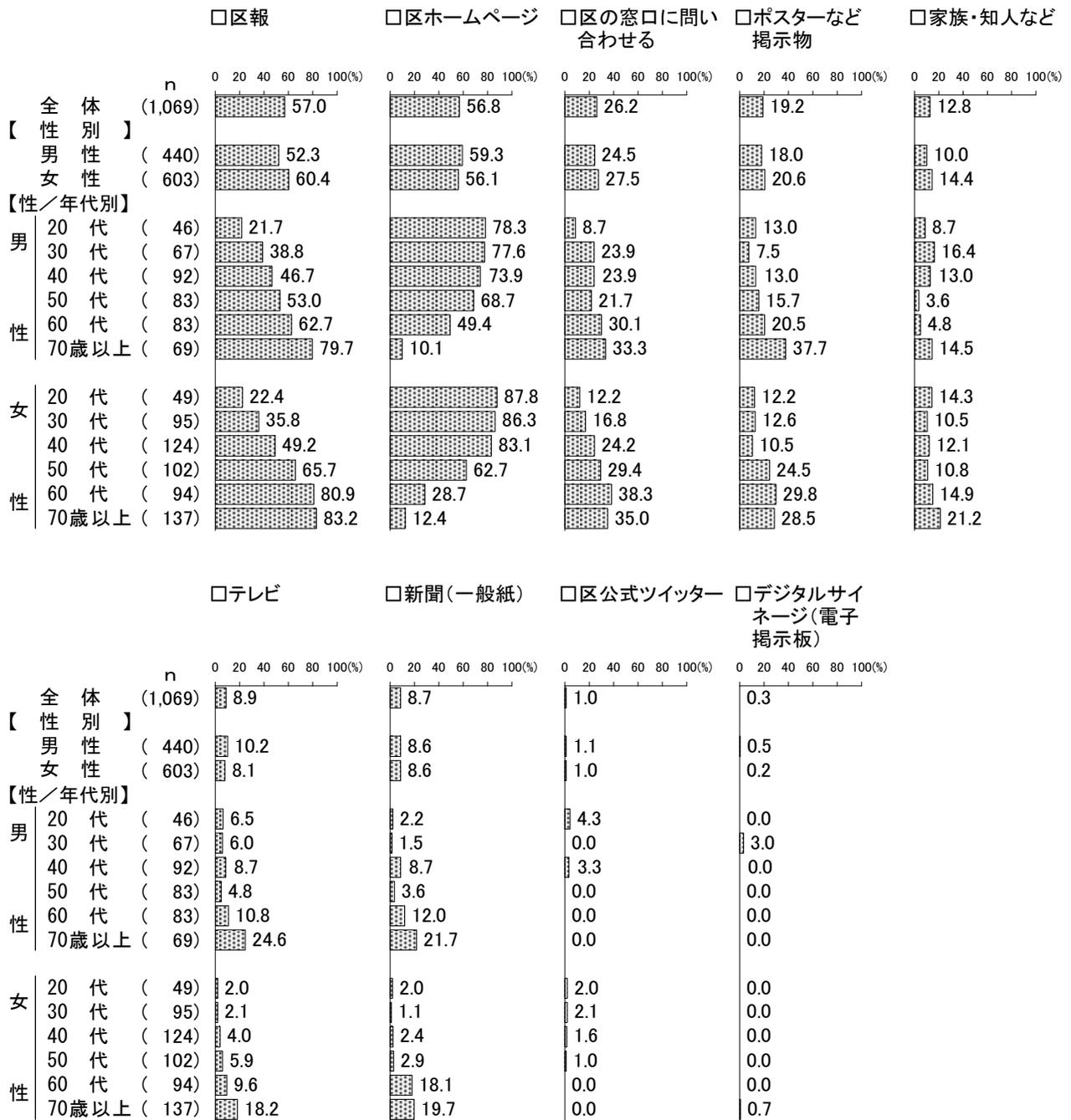
図 16-2-1



区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用するか聞いたところ、「区報」(57.0%)と「区ホームページ」(56.8%)が6割近くで高く、次いで「区の窓口にお問い合わせ」(26.2%)、「ポスターなど掲示物」(19.2%)、「家族・知人など」(12.8%)などの順になっている。

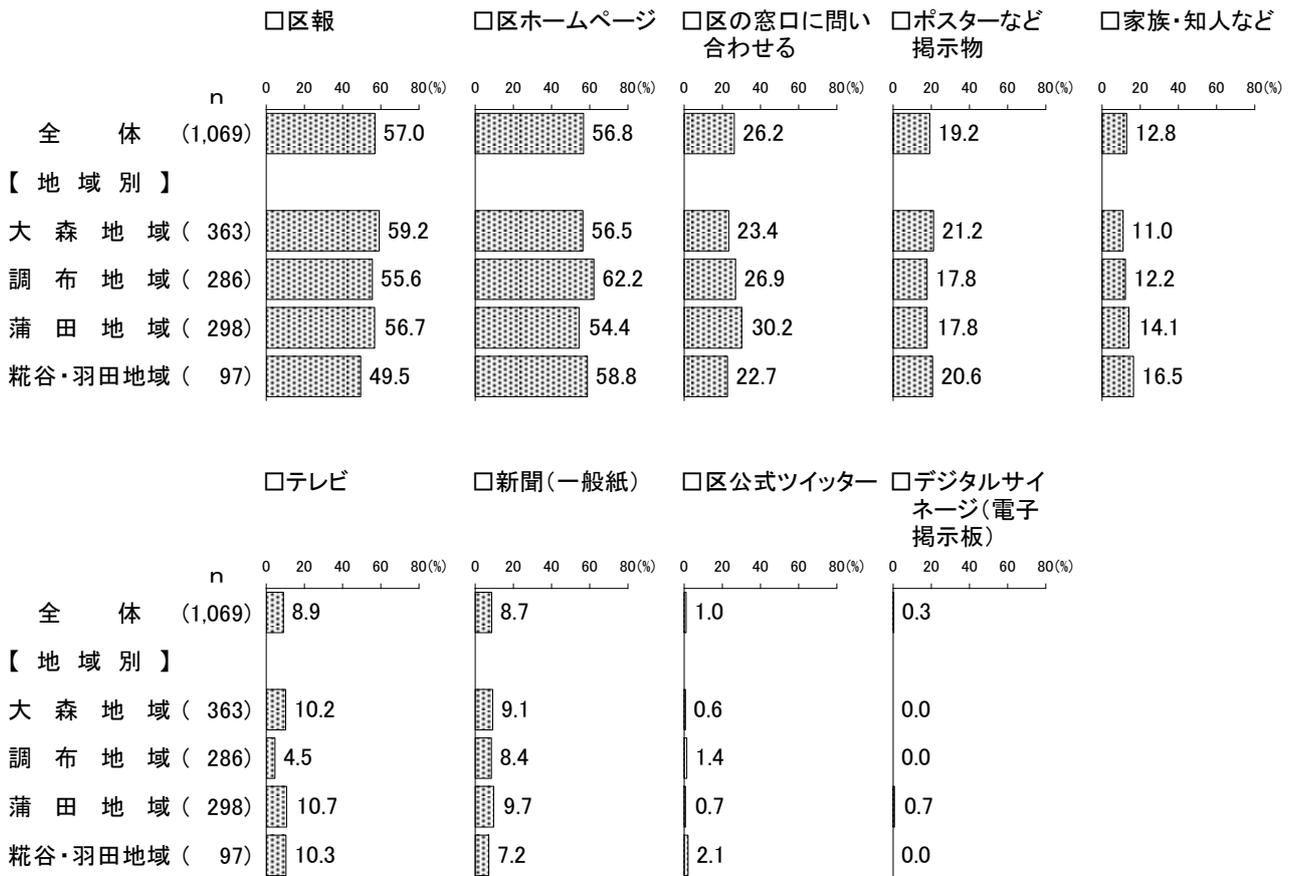
「その他」への回答として、「回覧板など町会を通じて」、「くらしのガイド」などがあげられている。(図 16-2-1)

図 16-2-2 区の情報を知るために利用する媒体－性／年代別



性別で見ると、「区報」は女性（60.4%）が男性（52.3%）より8.1ポイント高くなっている。性／年代別で見ると、「区報」は男女ともに年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（83.2%）で8割を超えている。また、「区ホームページ」は男女ともに年代が低くなるほど割合が高く、女性20代（87.8%）で9割近くとなっている。（図16-2-2）

図 16-2-3 区の情報を知るために利用する媒体—地域別



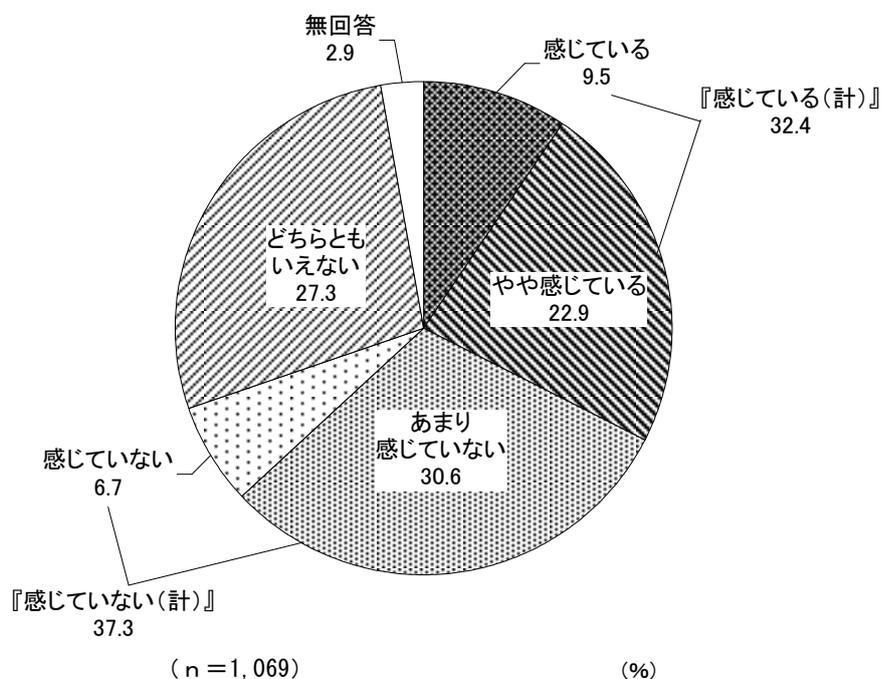
地域別でみると、「区報」は大森地域 (59.2%) で約6割と高くなっている。また、「区ホームページ」は調布地域 (62.2%) で6割を超えて高く、「区の窓口にお問い合わせ」は蒲田地域 (30.2%) で3割となっている。(図16-2-3)

(3) 区の情報公開

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は3割を超える

問 31 区政情報が適切に公開されていると感じていますか。(○は1つだけ)

図 16-3-1

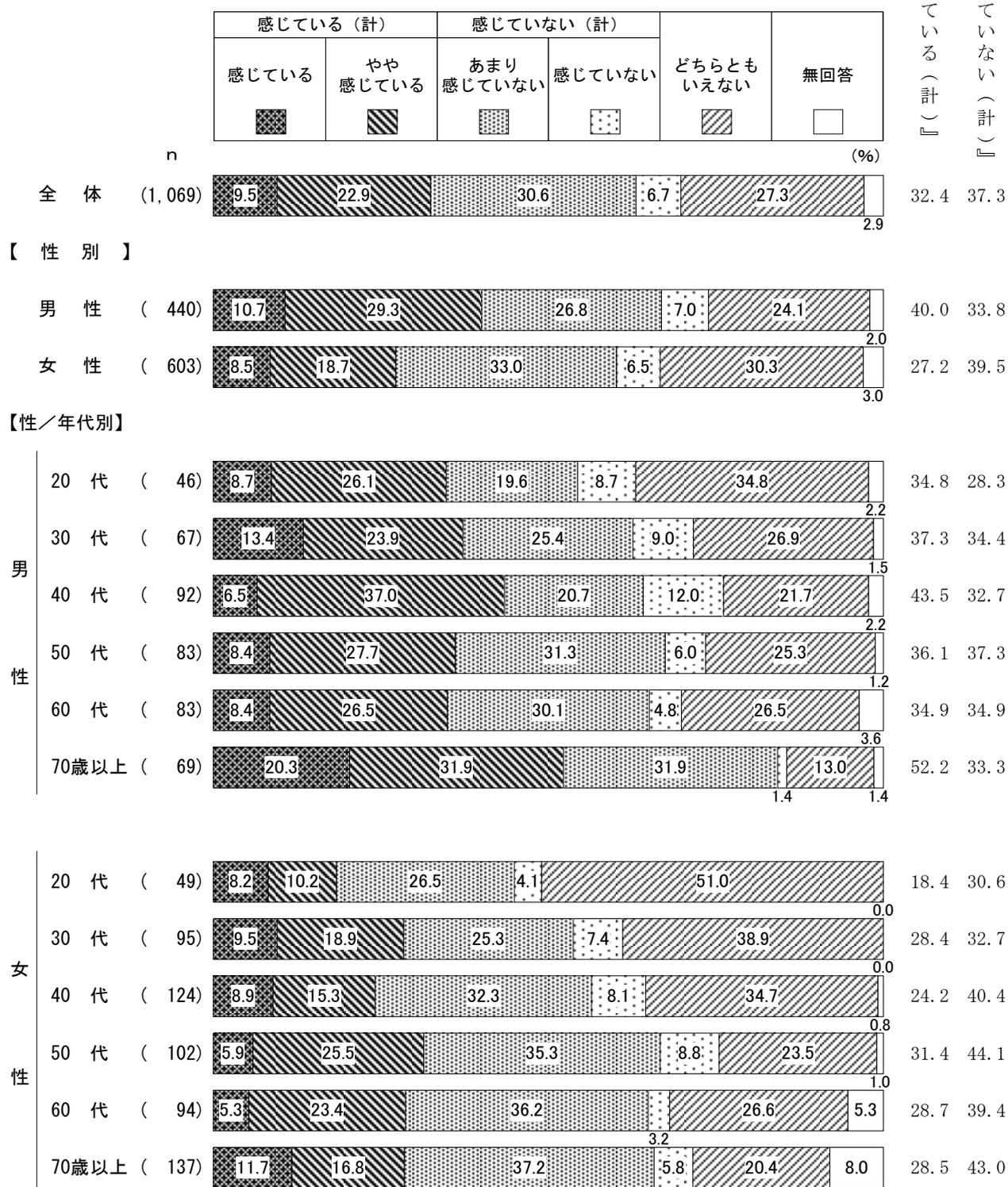


区政情報が適切に公開されていると感じているか聞いたところ、「感じている」(9.5%)と「やや感じている」(22.9%)を合わせた『感じている(計)』(32.4%)は3割を超えている。一方、「あまり感じていない」(30.6%)と「感じていない」(6.7%)を合わせた『感じていない(計)』(37.3%)は4割近くとなっている。また、「どちらともいえない」(27.3%)は3割近くとなっている。

(図 16-3-1)

図 16-3-2 区の情報公開一性／年代別

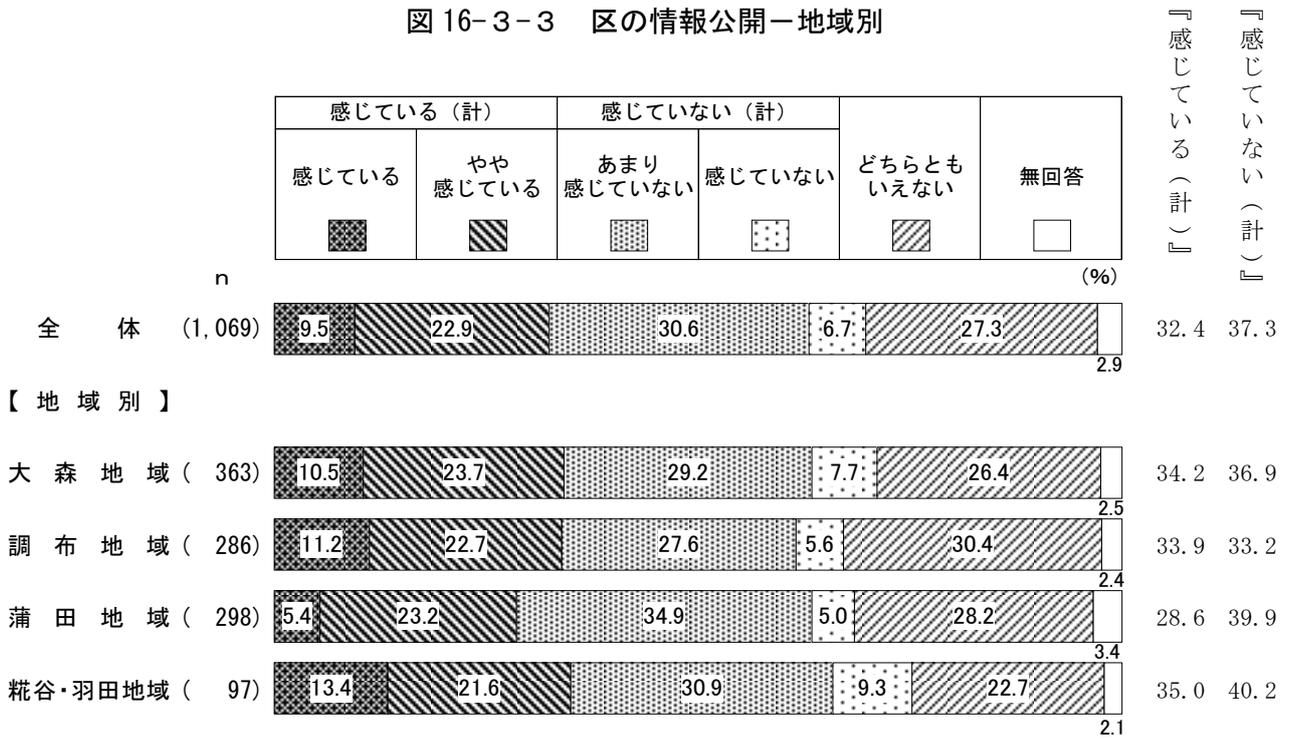
『感じている（計）』
『感じていない（計）』



性別でみると、『感じている（計）』は男性（40.0%）が女性（27.2%）より12.8ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている（計）』は男性70歳以上（52.2%）で5割を超えている。一方、『感じていない（計）』は女性50代（44.1%）で4割半ばとなっている。（図16-3-2）

図 16-3-3 区の情報公開—地域別



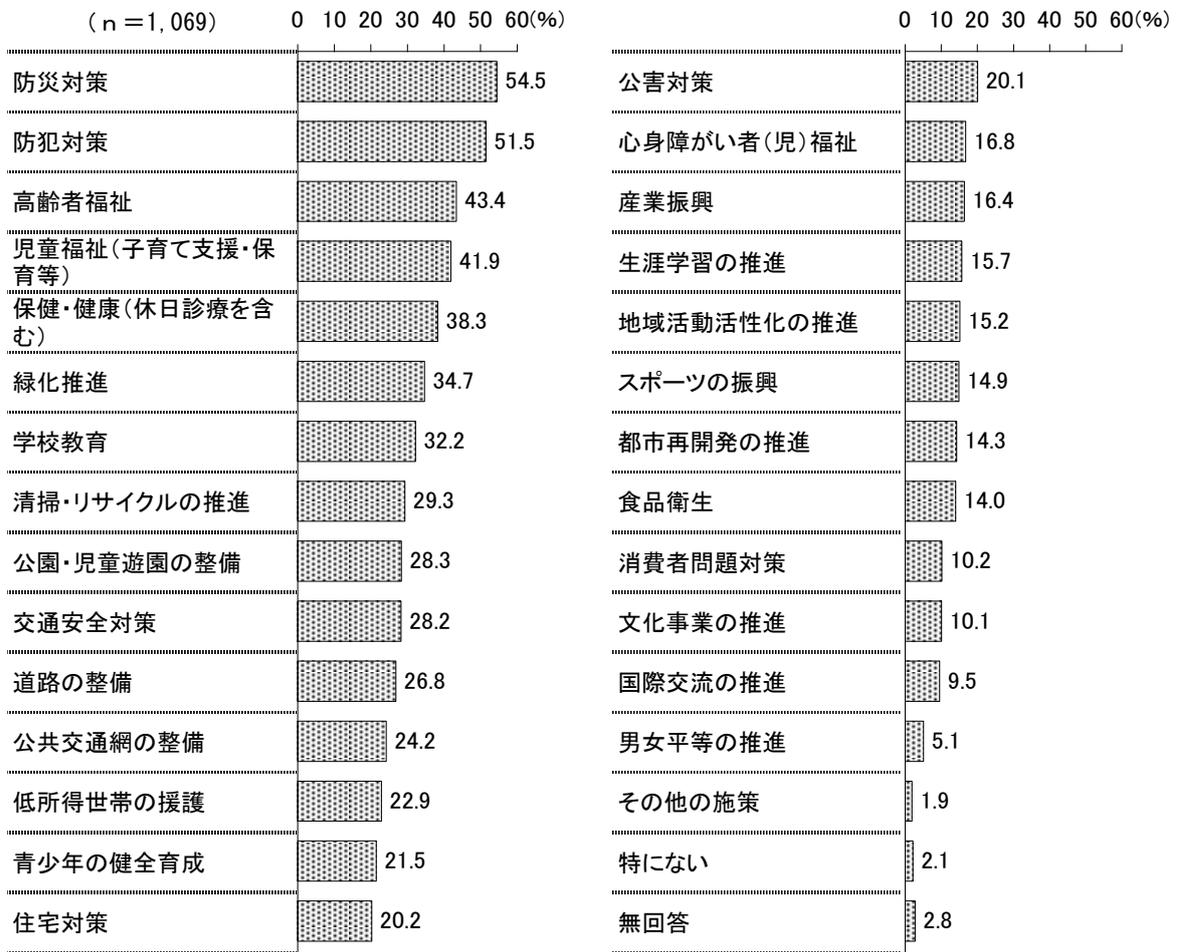
地域別でみると、『感じている (計)』は糀谷・羽田地域 (35.0%) と大森地域 (34.2%) で3割半ばとなっている。一方、『感じていない (計)』は糀谷・羽田地域 (40.2%) と蒲田地域 (39.9%) で4割となっている。(図16-3-3)

(4) 施策要望

◇「防災対策」が5割半ば

問 32 大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

図 16-4-1



区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(54.5%)が5割半ばで最も高く、次いで「防犯対策」(51.5%)、「高齢者福祉」(43.4%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(41.9%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(38.3%)、「緑化推進」(34.7%)などの順になっている。

「その他の施策」への回答として、「婚活イベント」、「自転車マナー教育」、「路上喫煙」などがあげられている。(図 16-4-1)

図 16-4-2 施策要望一経年比較（上位 10 項目）



※平成 22 年度から施策要望の回答条件が「3 つまで」から「いくつでも」に変更となっている。

そのため、割合の変化について平成 20 年度以前と比較する際は要注意。

※「高齢者福祉」は平成 24 年度までは「高齢者対策」、「児童福祉(子育て支援・保育等)」は平成 26 年度までは「児童福祉」となっていた。

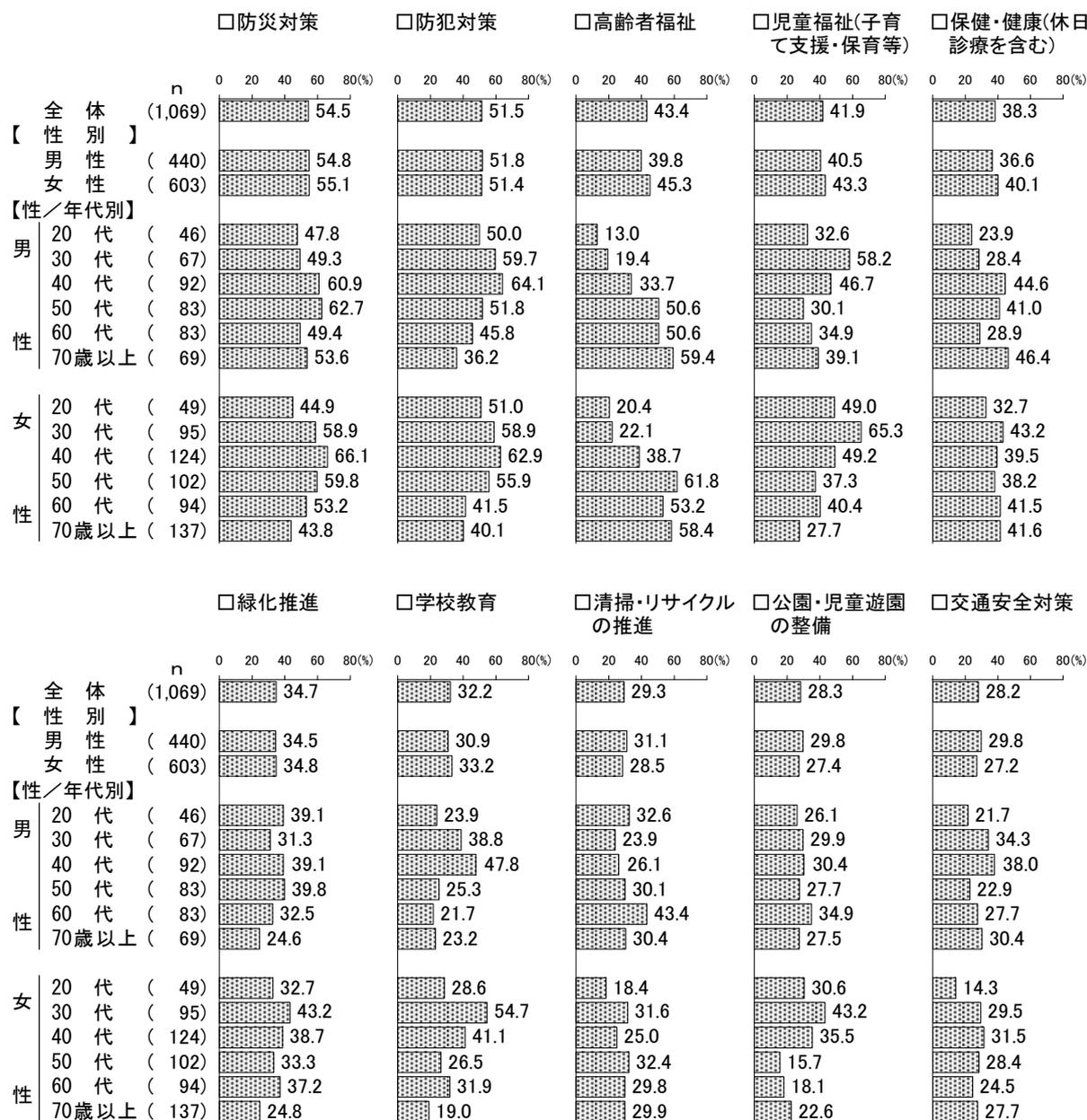
※「保健・健康(休日診療を含む)」は平成 26 年度までは「保健・健康」と「休日診療」(平成 24 年度までは「休日診療対策」)の 2 つの選択肢となっていた。

※「学校教育」と「防犯対策」は平成 27 年度から追加されている。

※同ポイントの項目は選択肢の順に記載している。

上位 10 項目の過去 4 回の調査結果と今回の調査結果の推移は選択肢が異なるため参考となるが、「防災対策」は平成 24 年度以降 1 位となっている。(図 16-4-2)

図 16-4-3 施策要望一性／年代別（上位 10 項目）



上位10項目を性別で見ると、「高齢者福祉」は女性（45.3%）が男性（39.8%）より5.5ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「防災対策」は女性40代（66.1%）で6割半ばと高く、「防犯対策」は男性40代（64.1%）と女性40代（62.9%）で6割台と高くなっている。また、「高齢者福祉」は女性50代（61.8%）で6割を超えて高く、「児童福祉（子育て支援・保育等）」は女性30代（65.3%）で6割半ばと高くなっている。（図16-4-3）

表 16-4-1 施策要望—地域別（上位5項目）

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,069	防災対策 (54.5)	防犯対策 (51.5)	高齢者福祉 (43.4)	児童福祉(子育て支援・保育等) (41.9)	保健・健康(休日診療を含む) (38.3)
大 森 地 域	363	防災対策 (56.5)	防犯対策 (51.8)	高齢者福祉 (46.0)	児童福祉(子育て支援・保育等) (43.3)	緑化推進 (37.7)
調 布 地 域	286	防災対策 (55.6)	防犯対策 (52.1)	児童福祉(子育て支援・保育等) (42.7)	高齢者福祉 (40.6)	保健・健康(休日診療を含む) (38.8)
蒲 田 地 域	298	防災対策 (54.4)	防犯対策 (50.3)	児童福祉(子育て支援・保育等) (43.0)	高齢者福祉 (42.6)	保健・健康(休日診療を含む) (41.6)
糀谷・羽田地域	97	防犯対策 (58.8)	防災対策 (52.6)	高齢者福祉 (43.3)	児童福祉(子育て支援・保育等) (38.1)	保健・健康(休日診療を含む) (30.9)

上位5項目を地域別で見ると、「防災対策」は大森地域、調布地域、蒲田地域で1位、糀谷・羽田地域で2位となっている。「防犯対策」は糀谷・羽田地域で1位、大森地域、調布地域、蒲田地域で2位となっている。また、3位にあげられている項目は大森地域と糀谷・羽田地域では「高齢者福祉」、調布地域と蒲田地域では「児童福祉（子育て支援・保育等）」となっている。

(表16-4-1)